

岡山県

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：引き続き体制整備・人材育成を進めていく

【達成状況】

- ・各圏域、保健所・支所管内ごとに地域移行推進に係る協議会、連絡会、研修会を開催。
- ・県主催研修会2回実施（精神障害者地域対応力向上研修会・精神障害者の退院支援に関する研修会）し、県、市町村の保健福祉関係職員、相談支援事業所、医療機関の多職種等延208名参加。
- ・高梁・新見圏域（備北地域）における地域移行に関する連絡会議5回開催、延142名参加。それに伴う準備会5回開催、延44名参加。
- ・訪問看護ステーション連絡協議会研修会、「医療・介護・福祉交流会」等への協力。
- ・アウトリーチ事業支援者連絡会2回開催、延57名参加。
- ・アウトリーチ事業、地域移行・地域定着支援事業関連保健所・支所連絡会2回開催、延38名参加。
- ・ピアサポート支援事業における養成研修・派遣事業実施（委託）、実績は集計中。
- ・今後のピアサポート支援事業について委託先との連絡会議2回開催、延14名参加。

目標：先進地域の取組等について情報提供できる機会を設けていく

【達成状況】

- ・「精神障害者の退院支援に関する研修会」において、退院支援に関する取組として「倉敷市」から行政の立場で「備北地域」から病院の立場で報告してもらい、参加者で“我が地の仕組み作り”について「距離と組織を超える行動プランを検討する！」のテーマで地域別グループワークを実施。
- ・3月には「入退院支援に係る関係者連絡会」を開催し、「措置入院者の退院後支援についての取組」として行政の立場、病院の立場からの取組報告を実施予定。

目標：研修会実行委員会（人材育成チーム：仮称）のメンバー拡大

【達成状況】

- ・本年度より県PSW協会、県相談支援専門員協会、地域移行促進センター、県障害福祉課、健康推進課、精神保健福祉センターに加え、県OT協会も参画。

平成30年度の取組方針

1. 体制整備や人材育成のさらなる推進
2. 各地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場の設定（保健所単位又は圏域）
3. 「地域移行推進検討委員会」のあり方の見直し